

2泊3日
&
3泊4日

ホストファミリー してみませんか？

2009年度 冬のホームステイプログラムご案内

遠くふるさとの国を離れ、日本に住みながら日本語などを勉強している留学生達が、冬の北海道と家庭生活を体感するためにやって来ます。短期間なので、初めてトライする方にもお勧め。日本の家庭のあたたかさを、感じさせてあげてください！



2泊3日

12/4(金)
～
12/6(日)

共立国際交流奨学財団 第50回研修会 — 冬のホームステイプログラム in 函館 —

募集家庭：30家庭
受入泊数：2泊3日
参加者：日本の大学・日本語学校に通う、主にアジア圏の留学生
主催：(財)共立国際交流奨学財団
(財)北海道国際交流センター

日程	時間	内容	宿泊
12/2(水)	午前 午後	羽田空港発・函館空港着 金森倉庫・バイエリア・元町地区散策/函館山夜景見学・クリスマスファンタジー見学	湯の川 大黒屋旅館
12/3(木)	午前 午後	小学校交流 トラピスチヌ修道院見学/ガラスづくり体験	湯の川 大黒屋旅館
12/4(金)	午前 午後	留学生オリエンテーション ホストファミリー対面式 (大黒屋旅館にて午前11時より) 各ご家庭へ⇒ホームステイ	各ご家庭
12/5(土)	終日	ホームステイ	各ご家庭
12/6(日)	午前～昼	函館空港にてお別れ (11時40分函館空港集合予定) お手数ですが、空港へのお見送りをお願い致します	

3泊4日

2/11(木)
～
2/14(日)

(財)北海道国際交流センター(HIF)主催 第7回 — 国際交流 冬のつどい —

募集家庭：45家庭 受入泊数：3泊4日
参加者：日本の大学・日本語学校に通う、主にアジア圏の留学生
主催：(財)北海道国際交流センター
後援：函館市・函館市教育委員会・七飯町・七飯町教育委員会

日程	時間	内容	宿泊
2/8(月)	午後	羽田空港発・千歳空港着 札幌ラマダホテル着・札幌雪まつり自由見学	札幌宿泊
2/9(火)	午前 午後	札幌発・白老アイヌ民族博物館見学 昭和新山にて昼食・「ネイバル森」到着	ネイバル森宿泊
2/10(水)	午前 午後	クロスカントリー体験またはスキー体験 そり体験またはそり体験・温泉体験	ネイバル森宿泊
2/11(木)	午前 午後	「ネイバル森」出発・わかさぎ釣り ホストファミリー対面式 (HIFにて午前12時半より) ※市町村により時間が異なる為、詳細は後日お知らせします 各ご家庭へ⇒ホームステイ	各ご家庭
2/12(金)	終日	ホームステイ	各ご家庭
2/13(土)	終日	ホームステイ	各ご家庭
2/14(日)	午前～昼	函館空港にてお別れ (12時函館空港集合予定です) お手数ですが、空港への送迎をお願い致します	

※ホームステイ中の過ごし方は、基本的に各ホストファミリーにお任せしております。
※特に行事などもございません。留学生とご一緒に、普段通りの生活をお楽しみ下さい。
過ごし方の例：スーパーへ買い物・いっしょに犬の散歩・地域行事に参加・お子さんの学校や習い事に参加
TVを見ながら団楽・近所におでかけ・いっしょに料理やお菓子をつくるetc・・・
※対面式の出席について、函館空港へのお見送りに来られない場合については、HIFスタッフまでご相談下さい。

これらのプログラムにおきまして、ホストファミリーの皆様には、ボランティアで受け入れをお願いしております。どうぞご了承下さい。

申し込み・問い合わせ先：財団法人 北海道国際交流センター(HIF)

住所：〒040-0054 北海道函館市元町14-1
TEL：0138-22-0770 FAX：0138-22-0660
http://www.hif.or.jp E-Mail：tudo@hif.or.jp

お問い合わせは
お気軽にどうぞ！

はじめに ～プログラムの成り立ちについて～

共立国際交流奨学財団 第50回研修会
一冬のホームステイプログラム in 函館 一
受入期間：12/4(金)～12/6(日)

財団法人 共立国際交流奨学財団では、奨学生を中心に、一般学生（留学生、日本語学校生、日本人学生）も参加し、相互理解と国際親善・交流を促進する為の「研修会」を年数回実施しています。

「研修会」とは、地元の方々と交流しながら日本の歴史・生活文化を学ぶホームステイプログラム・体験学習などを通して、日本を知り交流を広げるための研修旅行です。

北海道国際交流センター主催
一第7回 国際交流冬のつどい 一
受入期間：2/11(木)～2/14(日)

1979年の夏、七飯町の農家に早稲田大学の留学生16名がホームステイをきっかけとして始まった「国際交流の夏つどい」は今年で第31回目を迎えました。参加者からの「冬の北海道も体験したい」という声に応じて開催したのが、この「国際交流冬のつどい」です。

参加留学生は「日本の普通の生活を知りたい」と願っています。学校と寮やバイト先を往復する毎日、日本のあたたかな家庭を味わう機会などほぼ皆無だということです。約12万人もの留学生が大学や日本語学校などで学ぶ現在の日本において、机上の勉強だけでなく、実際に日本の家庭で生活を共にしながら真の友情を育むことが出来たらどんなに素晴らしいことでしょう。

毎年参加して下さるご家庭、初めて参加をお考えのご家庭のみなさまに、留学生を家族の一員として受け入れて頂き、一緒に交流を楽しんで頂けることを期待しております。



申込資格

- プログラム内容にご賛同して下さるご家庭
- 交流内容を理解し地域社会に貢献を望むご家庭
- ご家族全員の同意があること
- 留学生の国籍などについて、事務局の意向に添えるご家庭

申込方法

- 「ホストファミリー申込書」にご記入の上、郵送またはFAXでお送りください。
- 申込〆切日
共立国際交流奨学財団 研修会 11/20(金)
第7回 国際交流冬のつどい 12/15(火)
- ご家族全員の写っているスナップ写真がありましたら申込書に添えて下さい。
- * 写真の裏に住所・氏名をご記入下さい
- * 写真は申込書と一緒に学生に送りますので
お返しできません。予めご了承下さい

ご注意下さい ～学生をお引き受けいただくにあたって～

交流全般について

- 滞在初日には家のルールや生活パターン（起床時間、お手伝いなど）をお伝え下さい。滞在中のスケジュール・過ごし方についてもよく話し合い、学生が理解不足であると思われる場合は、遠慮せずに再度ご確認ください。
- 学生は日本語で日常会話ができますが、個人差がございます。留学生の日本語能力をみて意思の疎通を図って下さい。簡単な言葉を使い、ゆっくりと明確な発音で話しかけて頂ければと思います。
- 学生たちは日本語の上達も望んでいますので、多くの会話を通してコミュニケーションを楽しんで下さい。間違った日本語を使った時は正しい日本語を教えてください。また、きちんと話したつもりが相手には全然伝わっていなかったということもあります。大切なことは、言葉だけではなく紙に書くなどして確認すると解りやすい場合もございます。

生活について

- 留学生は日本人の日常生活を体験したいと望んでいます。食事などは、普段通りでお願いします。ごく一部の学生には、宗教上の理由などから食事に制限がありますが、その場合は事前にお送りする留学生ファイルの中でお知らせ致します。
- 学生個人の部屋は特に必要ございません。また、ベッドでなければならないということもありませんし、水洗トイレでなくてももちろん構いません。
- 学生の個人的支出に関しては、自分で支払うように留学生に伝えておりますので、金銭的援助はなさらないようお願い致します。
- プログラムの参加期間中の怪我につきましては、HIFで参加留学生に傷害保険をかけております。病気については自己負担となりますので、留学生には健康保険証を持参するよう伝えております。いずれの場合も、直ちにHIFまでご連絡ください。
- その他、問題の生じた場合には、HIFに早いうちにご相談下さいますようお願い致します。

その他

- 留学生やホストファミリーがやむを得ない事情によりキャンセルされた場合、当初の予定とは別の留学生がお世話になることもございます。また、プログラム開始直前に留学生のキャンセルがあった場合には、受け入れて頂けなくなるケースもございますので、予めご了承下さい。
- 申込後、やむを得ずお引き受け出来なくなった場合には、出来るだけ早くHIFへご連絡下さい。
- プログラム終了後、報告書を発行しています。みなさんにはアンケート、写真などのご協力をいただきたく存じます。詳しくは交流終了後にHIFよりご連絡申し上げます。